

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日迄

特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会

1、事業の成果

今年こそ厳しい運営から脱出できると職員一同努力してきたが、天候、新型コロナウイルス、委託事業者の影響もあり予算を大きく下回る運営になってしまった。また、施設の貸し出しもクラブチームの撤退や冬場に積雪がなかったため公共施設が使えるなどで、利用者が激減してしまった。そのようなことから資金繰りも厳しく金融機関から運営資金を借り入れしなけりななかつた。しかし、当クラブは地域の皆さまの健康増進、子どもたちの健全育成に大きな役割を担っている。また、山形市南部への児童遊戯施設整備事業の入札に運営事業者として参加し採択を勝ち取ることができたので、当会の運営に活かせるよう取り組んでいきたい。

●スポーツクラブ事業

子どものスポーツクラブ3種目は昨年より収入も多く順調に運営できた。大人のスポーツクラブのトレッキングコースは前の体制に戻し山行を開催した。参加者も増え皆さんに喜んでもらうことができたが悪天候での中止が多かった。他の種目については、年度初めは会員減になっていた種目も、その後順調に集客でき予算に近い運営ができた。

●スポーツ教室事業

大人のスポーツ教室については大きな伸びはなかったが各講座の評判が良く参加者には大変喜ばれた。子どもの体育教室、幼児の動きづくり教室は参加者も増え順調に運営ができた。しかし、サッカー教室については委託事業者の指導力不足などから退会者が多く出てしまい、収入は大きく下回る結果となってしまった。スキー教室については雪不足の影響で会場の変更など試行錯誤しての運営となり天気に関わりで左右される活動が不安な時代になっていくのだと感じた。

●スポーツ支援事業

学校の体育の授業、スキー教室、学童、幼稚園、保育園やPTA活動などへの指導者派遣の要請を受けスポーツの支援に努めることができた。子どもゆめ基金の教材開発の助成金を獲得することができ、子どもたちの運動能力向上のための運動メニューを紹介する「つなぐ一と」というHPを立上げスタートさせた。

●こどもクラブ

今年度も運動も取り入れながらスポーツ学童として充実した内容で保育に取り組んだ。3月は新型コロナの影響で学校が休校となり毎日朝からの1日の保育となった。感染防止に気を付けてながらの長期時間保育は職員の負担も大きい。また、スポーツクラブを休業しての運営なので管理費だけが増えている。しかし、民間運営のため国や市からの助成はなく大変厳しい状況となっている。しかし、私たちでできる最大のサービスに心がけながら保育に取り組んだ。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
スポーツクラブ	小学生のスポーツクラブ	金、土曜日	クラブハウス他山形市内外	延べ300名	小学60名	10,034
	大人のスポーツクラブ	年間	クラブハウス、アプルスプラス、他山形市内外	延べ450名	大人260名	
スポーツ教室	子どものスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ430名	幼児30名 小学生230名	20,959
	大人のスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ500名	大人95名	
	子どものスキー教室	12月～3月の土曜、休日	蔵王スキー場	延べ240名	幼児30名、小中学生180名	
スポーツ支援	指導者派遣	年間	山形市内	延べ30名	市内小学校他	4,853
	イベントの開催	年間	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ10名	一般、全会員	
こどもクラブ	学童	月曜日～土曜日	クラブハウス他山形市内	10名	小学生46名	5,209
管理費						26,811